

ENEA
エネア

Energy
Management
Association

会報 NO.165 令和6年9月号

一般社団法人工ネルギーマネジメント協会
〒803-0004
北九州市戸畠区中原新町2-1北九州テクノセンター8F
TEL : 093-873-1333 FAX:093-873-1334

代表理事挨拶

いつもお世話になりありがとうございます。

本年度の省エネ診断の申込みが200件以上となり省エネ診断のニーズが増えていることを実感しています。そのニーズに答えられるように専門家の充実にも努めていきたいと考えています。

また、セミナー講師案件も増えていますので、中小企業の省エネ取組の参考になる講義にも努めたいと考えています。

鳥取県中小企業団体中央会より会報での投稿依頼がありましたので「脱炭素経営」について投稿した内容を参考にご紹介します。3か月連続での投稿の第2回目です。

当協会としては会員皆様のお役に繋がる取組が行える様に努めてまいりますので、今後共どうか宜しくお願ひします。



省エネ
お助け隊



・省エネお助け隊「地域プラットフォーム構築事業」

<http://www.shoene-portal.jp/>



ZEB29P-00003-C

代表理事 高田 敏春

会員情報

会員数:63社(内:北九州市内35社/北九州市外28社)

新規入会企業のご紹介

事務局よりご案内メール(10月5日まで)

事務局より会員の皆様に発信した情報を一覧にしております。

R06.09.05	【案内】	概算要求のご案内
R06.09.08	【案内】	補助金・支援施策一覧表などのご案内
R06.09.08	【案内】	山口県の省エネセミナーのご案内
R06.09.15	【案内】	補助金・支援施策一覧表のご案内
R06.09.17	【案内】	延岡市・直方市のセミナーのご案内
R06.09.22	【案内】	補助金・支援施策一覧表のご案内
R06.09.29	【案内】	補助金・支援施策一覧表のご案内

「中小企業が取り組む脱炭素経営について」

第2回「自社の現状把握の方法」



一般社団法人エネルギー・マネジメント協会
代表理事 高田敏春氏

2024年8月号で脱炭素経営の最新動向について触れました。今月号では自社の現状把握の方法についてお伝えしたいと思います。

多くの経営者は決算書で光熱費を把握していると思います。特に近年は、燃料価格が高騰しており毎月の光熱費を気にされている経営の方も多くいると思われます。また、その際は料金の把握で済まされる方もいますが、大切なのは使用量です。

毎月の使用量を把握することで月々の変動を把握し、その変動要因を分析し、問題点があればその対策をすることできることで使用量の削減につながる場合があります。

各自でできる現状把握の方法は、月々の使用量を把握することから始めることです。また、今回のテーマが脱炭素経営なので、使用量を把握したらCO₂に換算して各自のCO₂の把握にも努めて下さい。

電力の場合の計算式は、年間電力使用量×電力会社の排出係数で算出

できますが、注意点としては電力会社ごとに排出係数が異なる点と毎年排出係数（実排出係数）が異なる点です。排出係数は環境省の「<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc/>」で公開されていますので参考ください。

次にできることは外部専門家の意見を聞いてみることです。経済産業省では企業に応じて3種類の現状把握（省エネ診断）ができる施策があります。また、省エネ診断費用は9割国補助があるので、企業の負担は1割となります。

①省エネクイック診断
登録診断機関が診断する省エネクイック診断で、特徴は設備単位で診断が行えるところです。各自の課題が明確であればその設備のみ診断することが可能となります。2設備までは「設備単位プラン」、3設備以上であれば「まるつとプラン」となります。また、過去に省エネ診断を受けた事業者向けに「効果測定コース」もスタートしました。

まずは、各社で行える現状把握に努め、更なる取組をされた時に外部専門家を活用した現状把握や改善提案の確認をされでは如何でしょうか。

次月号では、省エネ取組について触れていきます。

②省エネ最適化診断
一般財團法人省エネルギーセンターに登録されている専門家による省エネ診断で専門家の視点で必要な運用改善・設備導入改善の提案を行います。また、さらに希望があれば「IoT診断」でデータに基づく詳細な診断も可能です。
申込/問合せ先
<https://www.shindan-net.jp/service/shindan/entry.html?apply>

③省エネお助け隊

省エネお助け隊に登録されている専門家による省エネ診断で専門家の視点で必要な「運用改善」「設備導入改善」の提案を行う省エネ診断です。加えて、希望があれば「省エネ伴走支援」による支援メニューにより、省エネ診断で提案された改善について支援も行えます。

申込/問合せ先
<https://www.shoene-portal.jp/consultation/>

中小企業向け脱炭素セミナーin山口市会場

開催日：令和6年9月25日

会場：KDDI維新ホール 会議室204 会場参加・Web参加



高田講師講義風景



井本講師講義風景



岡崎講師講義風景